



会報

笑てん会

加古川中央市民病院がんサロン「笑てん会（わろてんかい）」は、がん患者さんとその家族が、体験を語り合いお互いに癒される場をつくることを目的に、平成29年7月に発足しました。コロナ禍の影響でしばらく休会していましたが、令和4年7月から再開し、現在、奇数月は病院で、偶数月はオンラインで開催しています。



勉強会の様子

第1回は「脱毛すると言われたら」というテーマで、認定がん専門相談員より講義がありました。脱毛の話題からひきつづき、抗がん剤治療の副作用やその対処について参加者の体験を共有しました。

第2回は「食べられないときの食事の工夫」というテーマで、がん専門管理栄養士より講義があり、参加者の方から食事に関する質問が相次ぎました。食欲がないときや味覚が変わってしまったときの工夫について情報交換をしました。

第3回は「痛みどめあれこれ」というテーマで、緩和薬物療法認定薬剤師より講義があり、がん治療で用いられる痛みどめの特徴や使用方法、薬剤師への相談方法について共有しました。

第4回は「意外と身近な緩和ケア」というテーマで、緩和ケア認定看護師より講義があり、緩和ケアがどのようなもので、どのように提供されているのか共有しました。

交流会の様子

交流会では一人の参加者の方が話された「初めての治療前の漠然とした不安」をきっかけに、それぞれが自身の体験、治療をやるしかないと思えるようになったところの動きについて語り、共有しました。はじめに不安を話された参加者の方は表情がやわらぎ、私もがんばろうと思いましたとお話されていました。

別の日には、食事が食べにくく困っているという抗がん剤治療の副作用について話されたご家族の方がいらつしました。抗がん剤治療を体験した参加者の方が、味覚障害で食べにくかった時、いろいろな味のドレッシングを試したなど、同じ体験をした仲間ならではの生活の工夫を共有しました。

サロン前は緊張した面持ちの方でも、やわらいだ表情で帰っていかれます。サロン後のアンケートでも「同じような悩みがあるんだと安心したり、勇気をもらった」などの感想をいただいています。

2023年度 勉強会の予定/講師（変更する可能性もあります）

4/20	脱毛すると言われたら/認定がん専門相談員	10/19	治療中のお肌や爪のお手入れ /がん化学療法看護認定看護師
5/18	食べられない時の食事の工夫 /がん専門管理栄養士	11/16	かかりつけ医って大事 /在宅医療支援室看護師
6/15	痛みどめあれこれ/緩和薬物療法認定薬剤師	12/21	院外薬局を活用しよう！ /がん薬物療法認定薬剤師
7/20	意外と身近な緩和ケア/緩和ケア認定看護師	1/18	リラクゼーション法について /精神看護専門看護師
8/17	日頃のお口のケアを確認してみよう /歯科衛生士	2/15	生活に役立つ制度/社会福祉士
9/21	生活の中での運動/作業療法士	3/21	進歩する放射線治療！/がん放射線療法看護認定看護師・放射線腫瘍科医師